

秋のキノコ

秋といえばキノコ、キノコといえば松茸をすぐ思い浮かべますが、里山には多くのキノコが自生しています。そんな中から過去9月から11月にかけて撮影した変わったキノコや色違いのキノコを拾い出してみました。

名前について図鑑など調べてみましたが、写真だけでは判別できない種類が多く、ここに紹介したなかで、もし違うものがありましたらご容赦お願いいたします。



▲ ヒナノヒガサ 9月15日
湿気の多い場所に生える とても小さいキノコ



▲ センボンイチメガサ 10月8日
小さいが、なかなか見応えのある形になる



▲ テングタケ科の一種 9月8日
大きなキノコの幼菌 この仲間は2～30cmになる大きなものが多い



▲ コガネタケ 11月3日
道端に群生していることがある大きなキノコ



▲ ムラサキシメジ 10月29日

きれいな紫色をして、よく目につく。が、あまり出会わない



▲ コンイロイッポンシメジ 9月30日

ムラサキシメジに比べて地味で、あまり数は多くない



▲ アカヤマドリ 9月18日
林の中でひょっこり出会うことがある大きなキノコ



▲ ハタケシメジ 10月19日
道端の草むらによく生えているが、これによく似た毒キノコがある



▲ キツネノタイマツ 10月14日
ハエが好きそうな嫌な臭いがする変わった形のキノコ



▲ キイロイグチ 9月17日
イグチの仲間は傘の裏が網目状になっている



▲ ベニセンコウタケ？ 10月18日
このキノコはとても珍しい 名前も合っているか？怪しい



▲ チャワнтаケの仲間
ベニチャワнтаケモドキの可能性はある



▲ ナギナタタケ 10月8日

シロソウメンタケの仲間、房状になる種類は少ない



▲ ハナホウキタケ 9月17日

こちらはホウキタケの仲間、大きな房状になる



▲ キンハナビラタケ 9月15日
寒天状でとてもきれいなキノコ

キノコは何千種も知られているが、いまだに名前のついていないキノコが多く存在しているという。

赤木賢治通信員